

(日刊スポーツ 2011.6.12)

トップ ニュース 写真ニュース 大会日程 日本記録 データマン野口 世界陸上カウントダウン

横田が3年連続5度目の優勝／陸上

<陸上:日本選手権>◇最終日◇12日◇埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

男子800メートルは、日本記録保持者の横田真人(富士通)が1分47秒24で3年連続5度目の優勝を果たした。既に世界陸上B標準をただ一人、切っており、代表は有力で「自分の力はまだまだ、こんなもんじゃないということを証明したい」と7月のアジア選手権、そして有力視される8月開幕の世界陸上を見据えた。

[2011年6月12日16時48分]

関連ニュース

【スポーツ】男子800横田、予選3組トップ／陸上 (2011年6月11日)

陸上:男子八百メートル横田、世界へ肉薄 - 毎日jp(毎日新聞)

1/1 ページ

スポーツ

陸上:男子八百メートル横田、世界へ肉薄

陸上男子八百メートルの第一人者、横田真人(23)＝富士通＝が、着実に世界の上位へと近づいている。日本記録の1分46秒16を筆頭に1分46秒台を8回も出すなど、過去の日本選手になかった安定感を発揮。今年は世界の上位争いを意識し、世界選手権(8月開幕、韓国・大邱)参加標準記録Aの1分45秒40を目指し、積極果敢なレースを繰り返している。日本の中距離は、長らく世界に後れを取ってきただけに、「歴史を変えたい」と意気込む。【石井朗生】

今月3日の静岡国際では前半から好ペースで進めて1分46秒85。8日のゴールデングランプリ川崎では外国選手との駆け引きも制し1分46秒87で、ともに優勝。まだスピードが高まる練習を十分に行っていない時期でもあり、「準備をしっかりとすればA標準は切れる」と手応えを得た。その後、21日の東日本実業団選手権では四百メートルで自己記録を大幅に更新。28日のゴールデングেমズinのべおか(宮崎・延岡)で、標準A突破に挑む。

冬場には、短い距離を繰り返す練習で1本ごとの休憩時間を短くしたり、8000メートルなどの長い距離もこなして持久力を増強。同時に、尻や太ももの裏側の筋肉を使ってスピードに乗るフォームも意識した。レースでその成果を試し、「力まずスピードを出す感覚が身についた」と、走りの改善を実感している。

東京・立教池袋高で全国高校総体を制し、慶大に進んだ06年に日本選手権初優勝。07年に世界選手権大阪大会に出場し、09年に日本記録を15年ぶりに塗り替えた。64年東京五輪を最後に五輪へ代表を送り出せていない日本の男子八百メートルの「救世主」になり得る逸材だ。

目標は大きく、「ロンドン五輪で決勝進出」。実現へのステップとして、今夏の世界選手権では準決勝に進み、世界トップ陣との戦いを体験することがテーマ。「挑戦し続ければ届くはず」と信じている。



世界の舞台での活躍を目指し、積極的なレースを繰り返してレベルアップを図る横田真人(左)＝望月亮一撮影